

第4学年 体育科学習指導路案

教科等	体育科	単元名	体の発育・発達	本時	全4時間扱いの1時間目
学級	4年3組	授業者		教室等	3階 4年3組教室

<本時の指導>

<本時のねらい> ○身長や体重などは、年齢に伴って変化することを理解する。 ○発育の仕方には個人差があることを理解するとともに、自分と他の人との違いを肯定的に受け止める。	
	<p>主な学習活動【4つの視点】</p> <p>主な発問:T 予想される児童の反応:C</p> <p>○研究主題にせまる6つの手立て</p> <p>□…指導上の留意点 ☆…評価 ※UD</p> <p>□教師の現在と過去の身長を表した紙テープを提示する。※視覚化</p> <p>□教師の実体験から、悩んでいる児童もいることに気づかせる。</p> <p>□具体的なアドバイスに対しては、その知識を称賛すると共に「心がけているけど伸びない」という子の存在にも触れ、考えさせる。</p> <p>□「気にしなくていい」という発言をとりあげ、本時の課題につなげるようにする。</p>
<p>1. 本時の学習について確認する。</p> <p>T:この紙テープの長さは何を表しているでしょう。</p> <p>C:先生の腕の長さかな。</p> <p>C:身長と同じように見える。</p> <p>2. めあてを立てる。【発見】</p> <p>T:身長が思うように伸びなくて心配している友達に、なんと声をかけてあげますか。</p> <p>C:たくさん食べて早く寝るといいよ。</p> <p>C:気にしなくて大丈夫だよ。</p> <p>T:今日は、体の成長について皆でもっと詳しくなるための学習をしましょう。</p>	<p>体の大きさは、年れいとともにどのように変わっていくのか調べよう。</p>
<p>3. 自分の身長の伸びのグラフを作成する。</p> <p>T:皆さんが小学校に入学してから今までの間にどのくらい身長が伸びたかを棒グラフで表しましょう。</p> <p>4. 友達とグラフを比べ合う。</p> <p>T:友達とグラフの結果を伝え合い、同じところや違うところを見つけましょう。</p> <p>C:僕は、2～3年生の間が1番伸びているよ。</p> <p>C:私は、3～4年生の間が1番伸びているよ。</p> <p>5. 交流によって分かったことを班で話し合う。【対話】</p> <p>C:みんな伸びていたけれど、伸びているときがちがうね。</p> <p>C:伸び具合は違うけど、成長していていることは一緒だね。</p> <p>6. 体の発育の仕方には、個人差があることを知る。【発見】</p> <p>T:友達と話し合って、どのようなことに気付きましたか。</p> <p>C:みんな成長している。でも、その時期が違う。</p> <p>C:一気に伸びている人もいれば、少しずつ伸びる人もいる。</p> <p>7. 身長が思うように伸びなくて心配している友達に何とやってあげるか考える。【表現】</p> <p>T:身長が思うように伸びなくて悩んでいる子に対して何とやってあげますか?今日の学習を生かして考えてみましょう。</p> <p>C:身長の伸び方には個人差があるから心配しなくていいよ。</p> <p>C:友達と自分とで比べる必要はないよ。安心して大丈夫。</p>	<p>□保健記録をもとに自分の今までの成長の様子を知る。</p> <p>□体重や身長は大切な個人情報であることを確認し、人のものを勝手に見せてはいけないことを伝える。※視覚化</p> <p>□たくさんの友達と比べ合った後、気付いたことを班にもち寄って身長伸び方の違いについて話し合わせる。</p> <p>○話題設定の工夫 自分の成長記録を活用することで、自分事として身長伸び方について考えられるようにする。</p> <p>○話し合いの話題の提示 交流する際は、「友達の考えを受け止めよう」、「くわしく知りたいことを質問しよう」、「全員が話せるようにしましょう」の話題を提示し、前向きな交流活動を促す。</p> <p>☆身長や体重などは、年齢に伴って変化することを理解している。</p> <p>□導入時の発言と活動後の考えが比較できるように吹き出しの色を変えて掲示する。※視覚化</p>
<p>8. 振り返り</p>	<p>□はじめと終わりで自分の考えがどのように変わったかを振り返らせる。</p>

【板書計画】

1/30 保健 体の発育・成長

めあて：体の大きさは年齢と共にどのように変わっていくのか調べよう。

悩んでいる児童のイラスト

◎友達と比べて気づいたこと

- ・みんな成長している
- ・伸びている時期が違う。
- ・一気に伸びる人と段々伸びる人がいる。

↓

身長の伸び方など、体の発育のしかたには個人差がある。

【研究主題にせまる6つの手立てとの関連】

(1) 「自分の考えを言葉で表現する」ための手立て

話題設定の工夫

体の成長を自分の成長記録と照らし合わせることで、自分事として捉え、興味・関心をもって考えられるようにする。「発育について悩んでいる友達」という具体的な存在を提示することで、学習する目的を明確にして話し合わせるようにする。

(2) 「学び合う」ための手立て

交流の目的と視点の明確化

それぞれが作成した身長伸び具合と時期のグラフを比べることを目的として、友達とグラフを見せ合いながら、同じところや違うところに視点を置いて話し合わせる。そうすることで、よりその違いに気付きやすくなり、人によって成長の時期や度合いの違いがあるということに気付きやすくなる。

話し合いの話題の提示

交流する際は、「友達の考えを受け止めよう」、「くわしく知りたいことを質問しよう」、「全員が話せるようにしましょう」の話題を提示し、前向きな交流活動を促す。